

## 古酒の日イベント

■ 目的/ 古酒文化の継承と発展を広く県民に伝える為に、9月4日は「古酒の日（コースの日）」として制定されており、沖縄県民に広く「古酒の日」を知ってもらう事を目的に古酒を中心とした46酒造の泡盛の試飲・販売やおつまみ販売を行う。

■ 概要/ 実施場所：沖縄タイムス 1階エントランス  
実施日時：平成29年 9月4日（月）  
16:00～21:00※会場借用時間 8:00～22:00  
実施内容：(1)46泡盛(古酒中心)の展示・試飲販売  
(2)泡盛(古酒、一般酒)のショット販売  
(3)おつまみの販売  
(4)Tシャツ販売  
※入場無料、販売はチケット制(1,000円/泡盛バー3杯＋試飲券1杯)  
主催：沖縄県酒造組合  
後援：沖縄国税事務所

■ 成果/ タイムスホールを活用しての展開により、多くの県民、観光客にご来場いただく事が（課題化）できた。事前告知として、沖縄県飲食業生活衛生同業組合に協力を依頼し、加盟の飲食店へポスターの掲示や、WEBサイトちゅらとくにてPRを展開した。

泡盛販売については、古酒のイベントという事もあってショットの注文が多くみられ、飲み比べセットも人気があった。後半は水割りがよく出た。泡盛販売ブース内は泡盛マイスター資格保持者を手配したため、来場客へアドバイスなども出来て良かった。

来場者からは「古酒のおいしさをあまり世間一般に知られてない気がするので、もっと、こういったイベントを増やすべき」といった意見や「女性向けのイベントが多く開催されたらうれしい」などの意見が寄せられ、古酒の日を通じた体外的なPR強化の必要性が感じられた。

また、泡盛の飲み方について「色々な割方、飲み方がわかると飲みたいくなります」や「シーン別でのみ方提案があると良い」など、泡盛の様々な楽しみ方に関する情報を求める意見が寄せられた。

一般的に、古酒の日に対する知名度がまだ充分とは言えず、イベント等の開催による取組みに加え、メディア活用やプロモーション展開など、面的な広がりのある複合的な取組みが今後は必要と考えられ、特にSNSなどを活用した情報拡散型の取組みや、各酒造所との連携方法の模索など、県民生活の日常にもっと浸透していく手法を取り入れる必要がある。